

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和2年度)

調査表

施設名	宮崎港マリナー施設・宮崎県サンビーチーツ業
指定管理者	マリンパークス
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 港湾課

1 施設利用状況

指標	R2	R1	H30	増減理由等
年間利用者数(人)	211,800	228,800	249,900	利用者数について、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による大きなイベントの中止が影響し、全体の施設利用者が減少した。
海水浴期間のサンビーチーツ業利用者数(人)	51,000	40,100	35,300	
コメント	感染症拡大防止対策を行うため、バーベキュー施設や研修施設の利用者数制限やガイドラインに沿った「ビーチバーガーハウス」の営業、海水浴開設における3密対策など、通常とは違う運営であった。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R2	R1	H30	支出	R2	R1	H30
指定管理料	101,924	100,741	97,901	人件費	65,649	62,996	62,118
自主事業収入	4,722	3,240	3,500	需用費	30,487	30,940	33,695
利用促進事業	38,554	42,984	52,805	役務費	2,194	2,103	2,591
				委託料	19,563	20,409	19,333
				使用料等	19,647	20,207	20,231
				一般管理費	11,454	11,455	11,492
				自主事業支出	5,343	2,894	3,139
合計(①)	145,200	146,965	154,206	合計(②)	154,337	151,004	152,599
収支差額(①-②)	-9,137	-4,039	1,607				
コメント	指定管理者が管理する他の施設を含めた清掃、パトロールなどの業務効率化や大型機械導入による人件費削減、施設修繕の直営などの経費削減に取り組んでいるが、コロナ禍の影響で利用促進事業の収入減が大きく影響し、収支がマイナスとなっている。						

3 管理運営状況

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃(毎日実施)
	保守・点検	クレーン・クルーザー・フル点検(年次点検:年4回、保守点検:毎日)、電気設備(毎月)、公園内遊具の点検
	警備	夜間常駐警備、夜間巡回警備実施(日3回)
	修繕	トイレ修繕、マリナー設備等修繕、ビーチ施設等修繕、空調機修繕、ステンレス柵修繕等
	備品等管理	備品台帳の整備及び補修の実施
	安全対策	パトロールの実施(毎日)、航路水深検測、安全放送呼びかけの実施、マリナー航路情報の周知、津波警報発令時における情報伝達及び避難訓練の実施
	その他	釣り禁止区域への侵入者や夜間の不審者への指導と警察への速やかな通報の実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	施設の年中無休化・開園時間延長の継続、ホームページの更新、公園パンフレット(英訳版)の作成、マリナー利用者への「利用者の手引き」の配布
	イベント等ソフト面充実	マリナー・ビーチにおける自主事業の実施(親子つり大会、クリーン大作戦、シーカヤック体験会、ビーチヨガ教室、バーベキューグッズレンタル等)の実施、イベント(フリーマーケット)の開催
	施設設備等ハード面充実	ミスト・スプリングラー設置(海水浴期間中)、無料休憩施設の開設、通年営業、AED設置及び安全教育の実施、掲示板の設置(マリンセンター、北ビーチ、艇庫)及び気象情報、潮汐情報、航路状況)の提供
	その他	赤ちゃんの駅への登録
管理運営体制	利用者へ安心して安全な公園が提供できるよう、全施設において的確な人員を配置した。	
コメント	上下架クレーンの適切な維持修繕、津波避難訓練の実施、夜間常駐警備、マリナー航路情報の周知など適切な管理業務に努めている。サービス面においても開園時間延長の継続や無料休憩施設の通年営業によるサービス提供を継続的に行うとともにビーチ開設期間の利便性向上などに取り組んでいる。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(公園ポスト、イベント時のアンケート、意見延べ62件)	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
施設の維持・修繕・故障に関する要望	順次補修等を実施。	
イベントに関する要望	今後のイベントへの反映を検討中。	
施設充実にに関する要望	対応策について関係者と検討中。	

5 総合評価

評価コメント	コロナ禍において、施設の利用制限や感染症拡大防止対策、自主事業の中止など変更を余儀なくされる1年であったが、迅速に対応するとともに、利用者への丁寧な周知、説明等により特に混乱もなく適切に運営が行われた。また、「サンドフラワーフェスタ」の実施などコロナ禍においても利用者が安全安心に来園できるイベントを実施し、利用者の増加に向けた取組も見られた。今後の継続と更なる工夫を期待したい。
今後の課題と対応	幅広い年齢層に向けたイベントの開催や冬期に利用者が少ないという課題に向けて、イベント実施などに取り組んでいるが、更なる工夫・充実を図り、年間を通した利用促進に繋げていく必要がある。